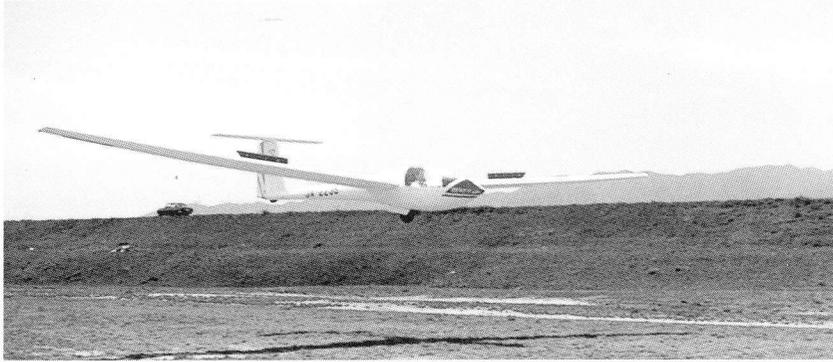


## うちの機体

# アステア CS77 型 “DENEb” JA2236

— 大阪工業大学 —

大阪工業大学 昭和53年卒 辻 埜 孝 義



「単座機欲しいなあ」。「Ka-8 や Ka-6 じゃ古いしなあ」。「これからはプラスチックでないとなあ」。「でも乗られへんかったら買っても意味無いでえ」などと、上級生の間でくすぶっていた単座機購入の話が盛り上がり出したのは、私が2年生の時でした。

学内教官の伏見さんが「今、西ドイツでアステアという単座機が Ka-8 の代わりにたくさん売られているらしいよ」と資料を拵げて話したのがきっかけでした。この機体なら乗れそうだ、ということで一気に購入の機運が高まり、購入に向け活動がスタートしたのです。

それから約3年、ようやく購入にこぎつけ、愛称の考案にかかりました。部員の愛称談義も盛り上がり、軟弱派から硬派まで出るは出るは愛称の山。しかし今一つパツとしたものが出てきません。

私も、当時所有していた ASK-13、愛称：ALTAIR（アルタイル、アルテアと呼んでいた）と関連のあるいい名前を見つeketakていろいろ考えました。ALTAIR が彦星のことなので星の名で何かいいのが見つかるかなと思い星図を見ってみました。すると ALTAIR は鷲座の1等星で、こと座の VEGA、そして白鳥座の DENEb とで夏の大三角形という

雄大な形を作っているではありませんか。

彦星には織姫星の VEGA が合うけれど、当時何かの商品名でもあり、ありきたり過ぎていたのでボツ。DENEb の方を探る事にしました。

学内 OB の命名委員長に提案したところ「“デネヴウ” デブみたいやなあ。何か聞こえ悪いなあ。飛ばんと落ちてきそうやなあ。」などとのたまいなさいます。そんなことはない、プラスチック機の純白はまさしく白鳥ではないか。DENEb は三つの星の内、最も明るく輝いている。ALTAIR より輝いているということは今以上にクラブが発展するということだ。それに、あまり知られていない名前なので話題性がある。等々、一晩考えたこじつけで洗脳することしきり。

その甲斐あってか、他に良い名前も出てこず、めでたく“DENEb”と命名されました。

それから十数年後のある日。この命名の由来を ALTAIR 購入当時の OB に話したところ。

「アルタイルなあ。そうとも読めるなあ。」

「エッ！違うんですか？」

「“ART” プラス “AIR” で “空高く” ということやってんけどなあ。」

「そ、そんな・・・？」（かつがれたんやろか）